

2022年6月3日
MMDLabo株式会社

経済圏の意識に関する調査

6サービス経済圏のユーザー実態調査 第2弾
**メイン利用している経済圏の依存度は「ドコモ経済圏」がトップ、
次いで「PayPay経済圏」「au経済圏」**
メイン利用している経済圏を76.3%が1年後も継続利用したいと回答

https://mmdlabo.jp/investigation/detail_2071.html

MMDLabo株式会社（東京都港区、代表取締役：吉本浩司）が運営するMMD研究所は、予備調査で18歳～69歳の男女25,000人、本調査で6つの経済圏のメイン利用者2,988人※を対象に2022年4月15日～4月19日の期間で「経済圏の意識に関する調査」を実施いたしました。調査結果は以下のとおりです。

※ドコモ経済圏（n=500）、au経済圏（n=500）、ソフトバンク経済圏（n=488）、楽天経済圏（n=500）、イオン経済圏（n=500）、PayPay経済圏（n=500）

※本リリースでは、アンケート調査により回収されたサンプルを人口構成比に合わせるために、ウェイトバック集計しています。

【調査結果サマリー】

- **最も意識している経済圏と今後意識していきたい経済圏は
どちらも「楽天経済圏」がトップ、次いで「ドコモ経済圏」**
- **メイン利用している経済圏の依存度、「ドコモ経済圏」がトップ、
次いで「PayPay経済圏」「au経済圏」**
- **メイン利用している経済圏を76.3%が1年後も継続利用したい
うち、継続利用意向の上位は「PayPay経済圏」「ドコモ経済圏」「楽天経済圏」**
- **メイン利用している経済圏を意識するきっかけになったサービスのトップ、
ドコモとauとソフトバンク経済圏は「ポイント」、
PayPay経済圏は「QRコード決済」、イオンと楽天経済圏は「買い物する場所」**
- **メイン利用している経済圏のサービスを45.6%が今後増やしていきたいと回答
うち、上位は「PayPay経済圏」「ドコモ経済圏」「au経済圏」**

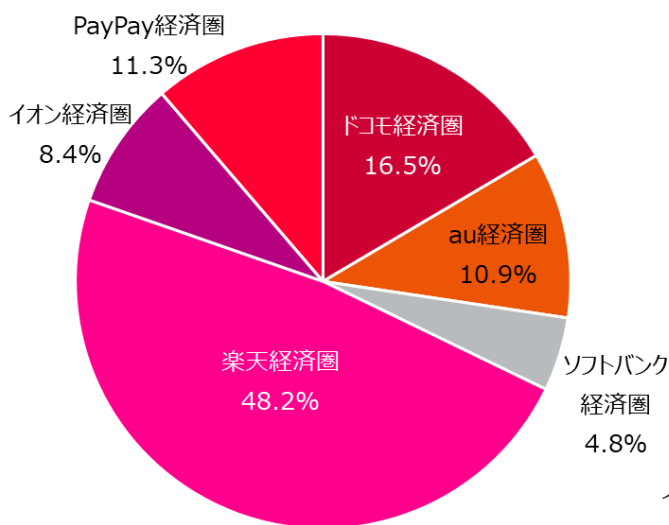
■ 最も意識している経済圏と今後意識していきたい経済圏は どちらも「楽天経済圏」がトップ、次いで「ドコモ経済圏」

18歳～69歳の男女25,000人を対象に、6つの経済圏のいずれかを意識しているか聞いたところ、48.5%が意識していると回答した。

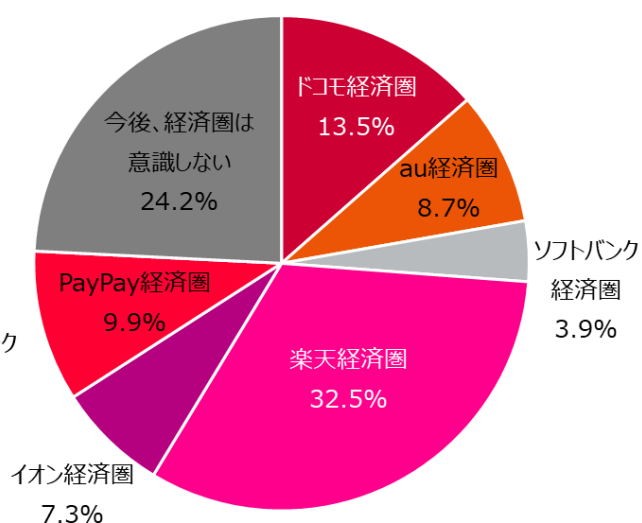
次に、6つの経済圏のいずれかを意識している12,134人を対象に、最も意識している経済圏を聞いたところ、「楽天経済圏」が48.2%と最も多く、次に「ドコモ経済圏」が16.5%、「PayPay経済圏」が11.3%となった。

18歳～69歳の男女25,000人を対象に、最も今後意識していきたい経済圏を聞いたところ、「楽天経済圏」が32.5%と最も多く、次に「ドコモ経済圏」が13.5%、「PayPay経済圏」が9.9%となった。

● 最も意識している経済圏 (n=12,134)



● 最も今後意識していきたい経済圏 (n=25,000)



MMD研究所調べ

■ メイン利用している経済圏の依存度、「ドコモ経済圏」がトップ、 次いで「PayPay経済圏」「au経済圏」

予備調査から6つの経済圏のメイン利用者2,988人を抽出し、メイン利用の経済圏の依存度を10点満点で聞いたところ、10点の比率は「ドコモ経済圏 (n=500)」が16.8%と最も多く、次に「PayPay経済圏 (n=500)」が14.8%、「au経済圏 (n=500)」が14.6%となった。

● メイン利用の経済圏の依存度 ※10点抜粋



MMD研究所調べ

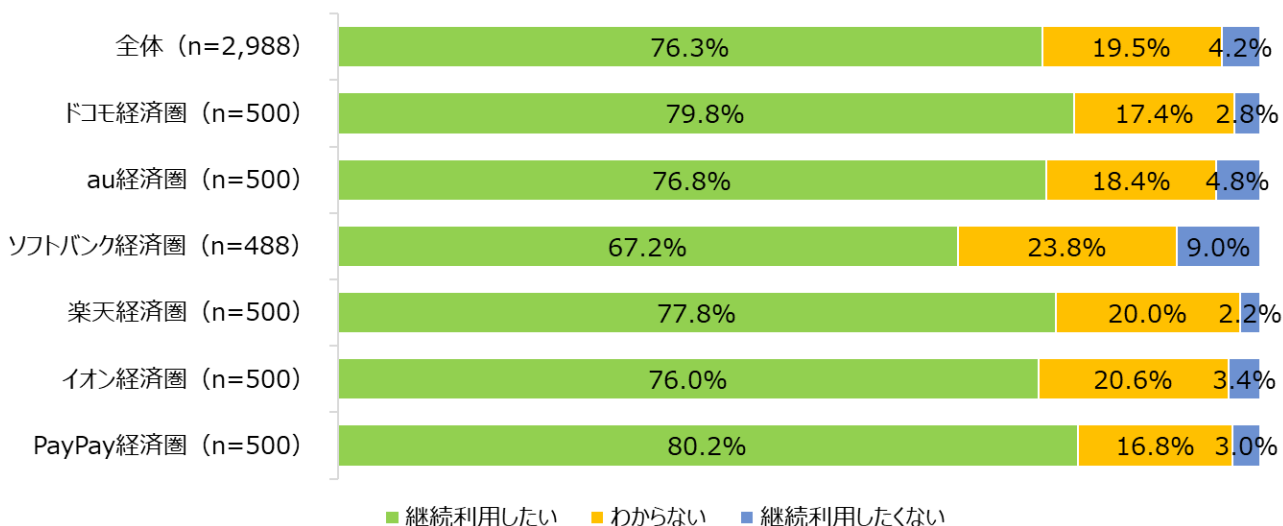
■ メイン利用している経済圏を76.3%が1年後も継続利用したい

うち、継続利用意向の上位は「PayPay経済圏」「ドコモ経済圏」「楽天経済圏」

6つの経済圏のメイン利用者2,988人を対象に、メイン利用の経済圏を1年後も継続利用したいか聞いたところ、76.3%が「継続利用したい」と回答した。

経済圏別に見ると、「継続利用したい」の回答はPayPay経済圏（n=500）が80.2%と最も多く、次にドコモ経済圏（n=500）が79.8%、楽天経済圏（n=500）が77.8%となった。

● メイン利用の経済圏を1年後も継続利用したいか ※経済圏別



MMD研究所調べ

■ メイン利用している経済圏を意識するきっかけになったサービスのトップ、

ドコモとauとソフトバンク経済圏は「ポイント」、

PayPay経済圏は「QRコード決済」、イオンと楽天経済圏は「買い物する場所」

6つの経済圏のメイン利用者2,988人を対象に、メイン利用の経済圏を意識し始めるきっかけになったサービスを聞いたところ、ドコモ経済圏（n=500）とau経済圏（n=500）とソフトバンク経済圏（n=488）は「ポイント（ポイントカード作成）」、楽天経済圏（n=500）とイオン経済圏（n=500）は「買い物する場所」、PayPay経済圏（n=500）は「QRコード決済」がそれぞれトップとなった。

● メイン利用の経済圏を意識し始めるきっかけになったサービス ※経済圏別、上位3位抜粋

ドコモ経済圏 (n=500)			au経済圏 (n=500)			ソフトバンク経済圏 (n=488)		
1位	ポイント (ポイントカード作成)	28.2%	1位	ポイント (ポイントカード作成)	24.4%	1位	ポイント (ポイントカード作成)	27.3%
2位	通信会社	26.2%	2位	通信会社	19.2%	2位	買い物する場所	20.5%
3位	クレジットカード	10.2%	3位	QRコード決済	13.4%	3位	通信会社	19.9%
楽天経済圏 (n=500)			イオン経済圏 (n=500)			PayPay経済圏 (n=500)		
1位	買い物する場所	32.6%	1位	買い物する場所	24.8%	1位	QRコード決済	40.0%
2位	クレジットカード	23.4%	2位	非接触決済	18.6%	2位	買い物する場所	20.0%
3位	ポイント (ポイントカード作成)	15.8%	3位	クレジットカード	15.4%	3位	ポイント (ポイントカード作成)	14.0%

MMD研究所調べ

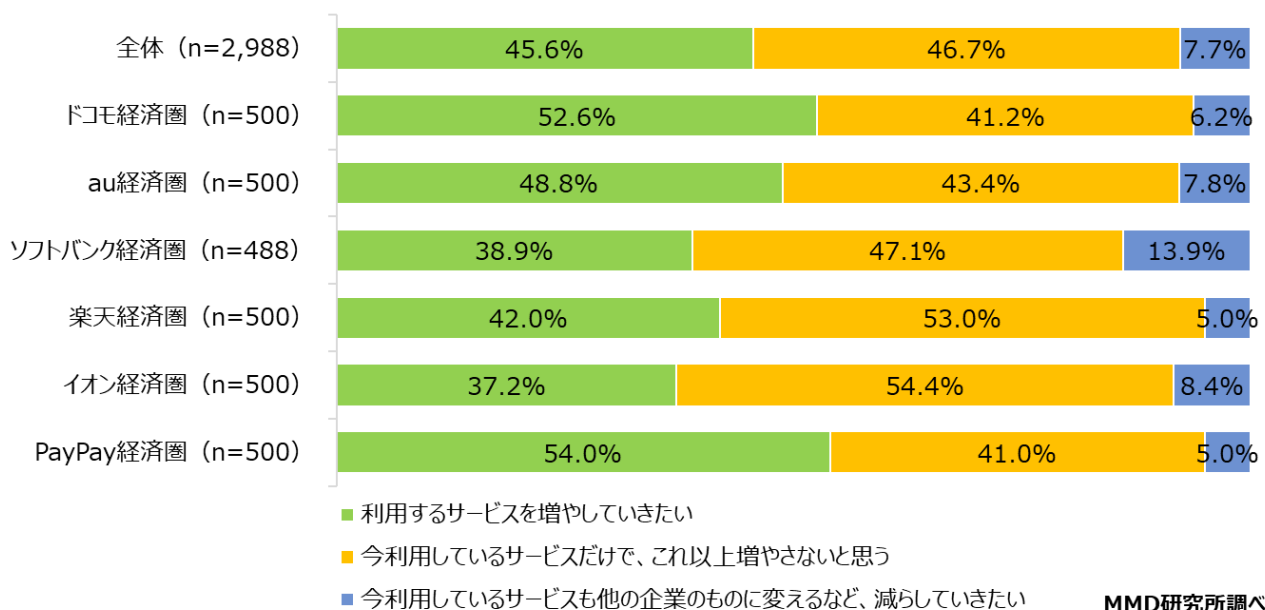
■ メイン利用している経済圏のサービスを45.6%が今後増やしていきたいと回答

うち、上位は「PayPay経済圏」「ドコモ経済圏」「au経済圏」

6つの経済圏のメイン利用者2,988人を対象に、今後メイン利用の経済圏で利用するサービス数を増やしていきたいか聞いたところ、45.6%が「利用するサービスを増やしていきたい」と回答した。

経済圏別に見ると、「利用するサービスを増やしていきたい」の回答はPayPay経済圏（n=500）が54.0%と最も多く、次にドコモ経済圏（n=500）が52.6%、au経済圏（n=500）が48.8%となった。

● 今後メイン利用の経済圏で利用するサービス数を増やしていきたいか ※経済圏別



※ソフトバンク経済圏にはYahoo!が入り、PayPay経済圏とは別として扱っています。

※本調査レポートは小数点以下任意の桁を四捨五入して表記しているため、積み上げ計算すると誤差がでる場合があります。

※回答者の属性は会員登録後に無料レポートよりご確認ください。

【調査概要】

「経済圏の意識に関する調査」

調査期間：2022年4月15日～4月19日

有効回答：予備調査25,000人、本調査2,988人

調査方法：インターネット調査

調査対象：＜予備調査＞18歳～69歳の男女

＜本調査＞6つの経済圏のメイン利用者

※ドコモ経済圏（n=500）、au経済圏（n=500）、ソフトバンク経済圏（n=488）、楽天経済圏（n=500）、イオン経済圏（n=500）、PayPay経済圏（n=500）

設問数：予備調査15問、本調査10問

【今回調査した全設問】

＜予備調査＞

- SC1 あなたが現在利用しているスマートフォンを教えてください。
- SC2 あなたが現在利用しているスマートフォンの通信会社を教えてください。
- SC3 あなたが普段お買い物をする時、どのような方法で支払っていますか？ここ1ヶ月間で利用したそれぞれの支払い方法の割合を、利用していないものを0%として合計100%になるように教えてください。
- SC4 あなたが現在利用しているクレジットカードを全て教えてください。
- SC5 あなたが現在利用している非接触の電子マネー、クレジットカードブランドのタッチ決済（タッチして支払いをするもの）について、カードをかざして利用しているもの、スマートフォンをかざして利用しているもの、それぞれ全て教えてください。
- SC6 あなたが現在利用しているスマートフォンのQR・バーコード決済を全て教えてください。
- SC7 あなたが現在利用している銀行、金融機関を全て教えてください。
- SC8 あなたが現在利用している証券会社を全て教えてください。
- SC9 あなたが現在活用しているポイントを全て選び、その中で最も活用しているポイントをひとつ教えてください。
- SC10 あなたが現在利用している総合ECサイトを全て教えてください。
- SC11 下記の中で、あなたが現在利用しているサービスを全て教えてください。
- SC12 あなたは、以下の「〇〇経済圏」という言葉を知っていますか？
- SC13 「経済圏」とは、docomo、au、SoftBank（Yahoo!）、楽天など1つの会社が運営している様々なサービス群（ECサイト、通信会社、決済サービス、金融サービス、エンタメ系サービスなど）を指します。これらの経済圏では、共通するポイント、アカウントを利用することで利便性が高く、またよりお得にサービスを利用することができます。あなたは、以下の経済圏を意識してサービスを利用、選択することがありますか？
- SC14 あなたが意識していると回答した経済圏のうち、最も意識している経済圏をひとつ教えてください。
- SC15 あなたが今後意識していきたい経済圏を、優先度が高い順に上位3つまで教えてください。

＜本調査＞

- Q1 あなたが「SC14回答選択肢表示」を最も意識していこうと考えたのはなぜですか？きっかけとなるエピソード、理由など些細なことでも構いませんので、できるだけ詳しくご記入お願いいたします。
- Q2 あなたは「SC14回答選択肢表示」が生活から無くなったらどのくらい困りますか？10点（とても困る）⇔0点（全く困らない）で回答してください。
- Q3 「SC14回答選択肢表示」サービスの中で、あなたが最初に利用したサービスをひとつ教えてください。
- Q4 あなたが現在最も意識している「SC14回答選択肢表示」の中で、「Q3回答選択肢表示」の次に利用したサービスをひとつ教えてください。
- Q5 あなたが「SC14回答選択肢表示」を意識し始めるきっかけとなったサービスをひとつ教えてください。
- Q6 あなたは、「SC14回答選択肢表示」を家族や友人にお薦めしたいと思いますか？10点（とてもお薦めしたい）⇔0点（全くお薦めしたくない）で回答してください。
- Q7 前問で「Q6回答選択肢表示」を付けた理由を教えてください。些細なことでも構いませんので、ご協力お願いいたします。
- Q8 あなたは今後、「SC14回答選択肢表示」の中で利用するサービス数を増やしていきたいと思いますか？今の気持ちに最も近いものをひとつお選びください。

NEWS RELEASE 報道関係者各位

Q9 「SC14回答選択肢表示」の以下の項目について、あなたの満足度を教えてください。

Q10 あなたは1年後も「SC14回答選択肢表示」を継続して利用したいと思いますか？最も当てはまるものをひとつ教えてください。

【本件に関するお問い合わせ】



配信元：MMD研究所 <https://mmdlabo.jp/>

担当者：菊池

連絡先：03-6451-4414／info@mmdlabo.jp